

金沢版総合戦略（第1次）の 取組状況

令和2年10月
金 沢 市

金沢版総合戦略（第1次）の概要

【金沢市人口ビジョン】

2060年の金沢市の人口 国の推計 34万7千人

↓
【自然減】合計特殊出生率：2040年 2.07に向上
【社会減】転入の増加、転出の抑制を図る

↓
2060年の金沢市の人口 43万2千人確保
(国の推計より8万5千人増加)

【金沢版総合戦略】

推進期間：平成27年度～令和元年度（5年間）

4つの基本目標：各々に数値目標を設定
具体的な施策：重要業績評価指標（KPI）を設定

↓
進捗管理：数値目標とKPIを使用し、PDCAサイクルにより効果検証・改善を実施

金沢版総合戦略の概要 4つの基本目標

基本目標1 若い世代に優しく、子育ての喜びが実感できるまちをつくる

【数値目標】 ・合計特殊出生率 1.43（H25）→ 1.6（R1）

基本目標2 学都金沢の強みを生かし、学生がまちに愛着を持ち、人々が集うまちをつくる

【数値目標】 ・市外へ就職する学生数を1割減 2,000人（H26）→ 1,800人（R1）

基本目標3 新幹線開業を契機に、産業と雇用が創出されるまちをつくる

【数値目標】 ・金沢地域への観光入込客数 844万人（H26）→ 1,080万人（R1）
・「金沢かがやきブランド」認定製品数 未実施（H26）→ 50品（R1）

基本目標4 周辺地域と連携し、暮らしやすいまちをつくる

【数値目標】 ・石川中央都市圏ビジョンの策定 未策定（H26）→ 策定完了（R1）

令和元年度 実施状況の概要

基本目標1 若い世代に優しく、子育ての喜びが実感できるまちをつくる

【数値目標】 ・合計特殊出生率 1.43 (H25) → 1.48 (H30) 1.6 (R1目標) ※ R1実績値は12月頃公開予定

主な施策の令和元年度の実施状況

(1) 妊娠から出産・育児までの切れ目のない支援

- 一部幼児教育・保育の無償化を実施
- 医療機関や助産院にて母子のケアや育児サポートを推進



金沢広域急病センター

(3) 結婚の希望をかなえるための環境づくり



- 子の結婚を願う親に対する意識改革や不安解消を目的とした交流の機会を提供
- ニートや発達障害など様々な状況にある若者の早期就労や、若手社員の職場定着を支援

(2) 金沢らしい子育てサポートの推進



「いしかわ中央子育てアプリ」

- 「いしかわ中央子育てアプリ」により、4市2町の子育て情報を配信
- 子育てサービスの利用者負担軽減や親子のふれあいを支援するクーポンを交付
- 家庭教育に関する情報を発信するホームページを開設

(4) 女性が活躍しやすい環境づくり

- 再就職を希望する女性を対象に、早期就労を支援
- 「金沢市働き方改革チャレンジ宣言企業」として、働き方改革に意欲的に取り組む企業を募集し、その成果を広く発信
- 雇用環境の改善に積極的に取り組む企業を表彰し、企業活動をPR



働き方改革チャレンジ宣言式

主なKPIの状況

産後ケアサポート人材数	132人 (H26)	→	181人 (R1)	200人 (R1 目標)
駅西地区の子ども一時預かり施設利用者数	未実施 (H26)	→	1,981人 (R1)	2,000人 (R1 目標)
出会いイベント参加者数 (累計)	未実施 (H26)	→	149人 (R1)	200人 (R1 目標)
はたらく人にやさしい事業所表彰企業数	2社 (H26)	→	10社 (R1)	5社 (R1 目標)

基本目標2 学都金沢の強みを生かし、学生がまちに愛着を持ち、人々が集うまちをつくる

【数値目標】 ・市外へ就職する学生数を1割減 2,000人（H26） → 1,905人（R1） 1,800人（R1目標）

主な施策の令和元年度の実施状況

（1）高等教育機関等と連携した「学都金沢」の推進

- ・地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）との連携により、新たな雇用創出や学生の地元定着を促進
- ・インターンシップによる学生と企業との交流の機会を充実
- ・「金沢の企業を知ろう」をテーマに学生等を対象とした企業説明会や見学会を開催
- ・企業と連携して商品開発に取り組む全国の学生とのワークショップを開催
- ・東京、京都の学生を対象にしたUJIターンセミナーの開催に加え、地方向けのWEBセミナーを開催し、首都圏以外の学生に対するPRを強化

平成27年度採択（COC+事業）
文部科学省
地（知）の拠点



企業見学会

（2）金沢らしさを生かした移住・定住の促進

- ・移住者向け支援制度を活用し、UJIターンを促進
- ・金澤町家情報館において、金澤町家の保全活用に関する相談やコンサルティングを実施



金澤町家情報館

（3）まちに愛着を持つ人材の育成



金沢ふるさと体験回バスツアー

- ・学生にまちへの愛着を深めてもらうため、地域の方々とともに地域課題を解決できる環境を醸成し、連携事業を実施
- ・食育活動を推進するため、学童を対象とした「金沢ふるさと体験バスツアー」を開催

主なKPIの状況

・COC+参加事業大学の地域就職率	未実施（H26） →	39.5%（R1）	46.5%（R1目標）
・金沢美術工芸大学と地域産業界等との連携に基づく事業による雇用創出数（累計）	未実施（H26） →	11人（R1）	10人（R1目標）
・県外からの金澤町家購入・賃貸成約件数（累計）	3件（H26） →	16件（R1）	13件（R1目標）
・学生と地域との連携協定締結数（累計）	20件（H26） →	34件（R1）	35件（R1目標）

基本目標3 新幹線開業を契機に、産業と雇用が創出されるまちをつくる

- 【数値目標】
- ・金沢地域への観光入込客数 844万人（H26） → 1,068万人（R1） 1,080万人（R1目標）
 - ・「金沢かがやきブランド」認定製品数 未実施（H26） → 26品（R1） 50品（R1目標）

主な施策の令和元年度の実施状況

（1）新幹線開業による観光産業の強化

- ・谷口吉郎・吉生記念金沢建築館の開館及び周辺地域の回遊性向上施策を実施
- ・ロシア飛込連盟、フランス障がい者スポーツ連盟と、オリンピックパラリンピック事前合宿に関する協定書を締結



谷口吉郎・吉生記念金沢建築館

（3）小規模企業者・店舗等への支援

- ・小売業、飲食業等の起業にチャレンジする若者を、奨励金や家賃助成、アドバイザー派遣で支援
- ・市外からの移転、市内企業の拡充促進を図るため、本市において本社機能等を整備する企業を支援
- ・見本市へ自社製品を出品する中小企業等に助成

（2）金沢ブランドを活用した独自産業の創出



加賀野菜イメージキャラクター「ベジタン」

- ・加賀野菜の消費拡大をめざし、加賀野菜を使用したベジタリアンやビーガン向けメニューの開発及び講習の実施
- ・金沢クラフトの魅力を内外に発信するほか、工房開設や金沢ブランド工芸品の開発を支援

（4）多様な主体との連携による新分野産業の創出

- ・ITビジネスプラザ武蔵の交流の場を活用し、異業種連携や新産業の創出等を促進
- ・市内高等教育機関等の学生が金沢テクノパーク進出企業を訪問し、情報交換や若手開発者と学生の技術交流会を開催



ITビジネスプラザ武蔵

主なKPIの状況

- ・年間宿泊客数 275万人（H26） → 343.1万人（R1） 314万人（R1目標）
- ・「dining gallery 銀座の金沢」での企画展出展者数（累計） 90者（H26） → 726者（R1） 700者（R1目標）
- ・海外見本市出展等への支援件数（累計） 20件（H26） → 46件（R1） 45件（R1目標）
- ・クリエイター誘致件数（累計） 未実施（H26） → 9人（R1） 10人（R1目標）

基本目標4 周辺地域と連携し、暮らしやすいまちをつくる

【数値目標】 ・石川中央都市圏ビジョンの策定 未策定（H26） → 策定完了（H27） 策定完了（R1目標）

主な施策の令和元年度の実施状況

（1）圏域連携による経済・生活圏の形成

- ・連携中枢都市圏の各自治体と姉妹都市協定を結んでいる各国と国際交流まつりを共同開催

（2）コンパクトシティの形成



まちのりポート

- ・届け出制により、都市機能誘導区域外での誘導施設の立地動向等を把握
- ・利便性向上のため、新しい運営形態による「まちのり」の供用を開始

（3）コミュニティ環境の充実

- ・コーディネーター相談における、市民と市民活動団体、学生団体と地域団体との連携を促進
- ・市民から提案されたまちづくりのアイデアを関係課と協働で実施



市民活動サポートセンター窓口

（4）元気な中山間地域の形成



地域運営交通「やくし号」

- ・都市住民との交流を促進するため、交流拠点施設にて交流イベントを実施
- ・薬師谷地区において、地域運営交通の本格導入に向けた試験運行を開始

（5）あらゆる世代が健康に暮らせる地域づくり

- ・在宅医療・介護連携支援センターにおいて、地域の医療と介護の連携を推進
- ・元気な高齢者のボランティア活動を促すため、実績に応じてポイントを付与するボランティアポイント制度を導入し実施
- ・ひとり暮らし高齢者の生活サポートのため地域住民主体の生活サポート体制構築を支援



在宅医療・介護連携支援センター「いいがいのネット」

主なKPIの状況

- ・公共レンタサイクル「まちのり」利用回数 130,885回（H26） → 149,487回（R1） 180,000回（R1目標）
- ・市民活動サポートセンターにおける交流や連携のマッチング数（累計）

未実施（H26）	→	9件（R1）	5件（R1目標）
----------	---	--------	----------
- ・地域運営バス等の運行箇所数（累計）

2地域（H26）	→	2地域（R1）	4地域（R1目標）
----------	---	---------	-----------
- ・地域安心生活支え合い事業取組地区数

2地区（H26）	→	38地区（R1）	34地区（R1目標）
----------	---	----------	------------

金沢版総合戦略(第1次)の成果と課題

金沢版総合戦略の狙い

- 金沢の個性、強みを生かした移住定住、誘客の推進
- 北陸新幹線開業を契機とした雇用や産業の創出 など

基本目標、数値目標等の達成状況

- 重要業績評価指数(KPI)達成状況:全58項目中、A以上が50項目。
- 【基本目標1】 児童クラブの受入の拡大や一時預かり施設の充実が図られた一方、保育需要がなお高いエリア等もある。ワーク・ライフ・バランスは、一定の進展。
- 【基本目標2】学生の地域就職は目標に届いていないが、学生と地域、大学と地域産業との連携は強化され、それぞれの目標を達成。
- 【基本目標3】新幹線開業に合わせたコンテンツの充実、施設整備、プロモーション強化が観光客増に繋がり、観光、産業、雇用が連動して高い水準で目標を達成。
- 【基本目標4】石川中央都市圏ビジョンや集約都市形成計画を策定し、まちづくりの方向性が示されたほか、「まちなり」の拡充により、交通の利便性が向上。

第2次金沢版総合戦略への課題

- 合計特殊出生率、市外に就職する学生数、移住者数等では、取組により改善が図られているものの、目標値には達していない。
- コロナ禍において、これまで堅調であった観光・経済分野の状況変化を注視していく。また、従来の東京一極集中から地方への関心が高まることが予想される中、この機を捉えた施策推進が求められる。